



マリア様、あなたは知っていましたか？

2024年のジュビリー・レター

愛するジュビリアンのシスター方、

2024年は、皆様の修道生活25年、40年、50年、60年、70年、75年、80年、85年のジュビリーの年です。はるか昔に、皆様方は神の呼びかけに愛情深くYESと答え、その時から今に至るまで、神との道を歩んできました。

今年私が発見して、深い感動をおぼえた歌が、あなた方のジュビリーにおいての省察を導いてくれるのではないかと思います。それは「Mary, did you know（マリア様、あなたは知っていましたか？）」という歌です。このレターの最後に、この歌を英語でお聴きになりたい方のためのリンクを記載します。歌詞は下記の通りです：

マリア様、あなたは知っていましたか、
あなたの赤ん坊がいつか水の上を歩くことを？
マリア様、あなたは知っていましたか、

あなたの赤ん坊が私たちの息子や娘たちを救ってくれるとを。

あなたの赤ん坊が

あなたを新しくするために生まれて来たことを？

あなたが産んだこの子が、やがてあなたを世に現すことを？

マリア様、あなたは知っていましたか、

あなたの赤ん坊が盲人に視力を与えることを？

マリア様、あなたは知っていましたか、

あなたの赤ん坊がその手で嵐を静められることを？

あなたの赤ん坊が天使たちと共に

歩いたことを？

あなたがこの赤ん坊の顔にキスをするとき

あなたは神のお顔にキスをしているんですよ。

マリア様、あなたは知っていましたか？

盲目の人が見えるようになり、ろう啞者が聞こえるようになる

死者は生き返り

足の不自由な人は跳びはね、口のきけない人は話せるようになる。

小羊の賛美

マリア様、あなたは知っていましたか、

あなたの赤ん坊がすべての被造物の主であることを？

マリア様、あなたは知っていましたか、

あなたの赤ん坊がいつか国々を治めることを？

あなたは知っていましたか、

あなたの赤ん坊が天国の完全な子羊だということを？

あなたが抱いているその寝むっている子は、偉大なる人物だということを。

マリア様、あなたは知っていましたか？

作詞作曲：マーク・ロウリー、パディ・グリーン

マリアが知っていたことは、ヨセフとは婚約していたが、まだ一緒には暮らしていなかったということでした。また、マリアが知っていたことは、通常、子供がどのようにしてできるか、そして、もし女性が婚姻外で妊娠した場合は、石打ちの刑に処される恐れがあるということでした。天使の呼びかけに応じたら、どのような人生が待ち受けているのかなどは、彼女には全くわかりませんでした。しかし、彼女は神と天使のメッセージを信じ、「あなたのおっしゃるとおりに、この身をお任せいたします」という偉大な答えを返したのです。イエスが生まれ、彼女が赤ん坊を見たとき、彼女は、この子は神の子だと信じたかもしれませんが、その子が後に行う偉大なことまでは全く予期していなかったのです。

皆様それぞれが誓願を立てたとき、自分の人生がどのようなことを待ち受けているのか、最初からわかっていた人は少なかったのではないのでしょうか？最初に期待していた通りになったこともあったかもしれませんが、そうでなかった場合もあったと思います。予期していなかったことが起こった時は、その都度改めて識別を行いつつ、神を信じつつ次のステップを踏み出す必要もあったことでしょう。イエスの母マリアが、天使から啓示されたことを完全に理解していなくても、未知のものに対して「フィアット」、すなわち「YES」と答えて捧げた人生と、私たちは同じように生きているのです。

皆様方は「神よ、あなたのみ旨に従って私をお使いください。私はあなたと共に歩みます」と言って誓願を立てました。このような信頼と信仰の姿勢があつてこそ、皆様はこの人生を歩むことを決意し、今日まで忠実であり続けることができたのだと思います。

マリアは息子と共に素晴らしい時をたくさん過ごしましたが、彼女の生涯はこのかわいいイエスという子供と共に夢のような人生を歩んだだけではありませんでした。彼女は悲しみや様々な問題、誤解や苦痛にも直面しました。シメオンはそれを、彼女の魂を貫く剣と呼んだほどでした。皆様もノートルダム教育修道女会女のシスターとして神に仕える人生において、喜びや楽しみのある時もあれば、あらゆる問題に直面し、苦しみや悲しみの経験をすることもあるかもしれません。

マリアは幼い子供を連れてエジプトに避難しました。彼女は12歳になるイエスを捜そうとしたとき、「どうしてわたしを捜したのですか。わたしが自分の父の家にいるのは当たり前だということを、知らなかったのですか。」とイエスに問われました。彼女が息子にカナの婚礼の援助を求めたとき、最初は拒絶されました。法律と秩序に固執する人々に対して、愛と憐れみに満ちた神について語ったイエスの周囲に緊張が高まるのを見ました。更にマリアはイエスの苦しみを目の当たりにし、十字架の上でのイエスの死にも立ち会いました。それからイエスの復活の喜びも経験することができました。すべてにおいて、彼女は神の愛に満ちた母であり続けたのです。すべての困難な経験が彼女を強くしました。イエスへの献身から彼女を決して遠ざけなかったからだ。イエスとともに歩んだ喜びの瞬間は、神の約束を信頼するよう彼女を励まし続けた。

ご自分の人生を振り返り、困難だった時を思い起こし、それがどれだけ今日の自分を成長させてくれたかを考えてください。そして、その困難を乗り越えるためにあなたに与えられた力とエネルギーを感謝の気持ちで振り返りてください。ジュビリーというのは、神があなた方一人一人を通して成し遂げてくださった素晴らしい御業を喜ぶための大きな招きなのです。それぞれの人生は、さまざまな経験が混ぜ合わさったものですが、ネガティブな側面にばかり焦点を当ててしまえば苦しく悲しい

ものとなり、すべてをひとまとめにして、ポジティブな方向に焦点を当てれば、新たな希望と喜びが湧いてきます。

マリアは天使と神への答えに忠実であり続けました：私は主のものであり、喜んで神のみ旨に従います。あなたも何年も前にあなたが捧げた YES に忠実に生きてきました。あなたは勇気を持って未知の世界に足を踏み入れ、これからもどのようなサプライズが待ち受けているかもわからない、未知の未来に向かって歩み続けることでしょう。

イエスと共に暮らし、家の外ではイエスがご自分の使命を生き、人々に説教や癒しをして回っていたことを聞いて、ようやく、マリアは自分の生んだ赤ん坊が誰なのかを知ったのかもしれませんが。聖書において「知る」とは、単に情報の細部まで認識するという意味だけではなく、しばしば愛や信頼、個人的な関係といった心の姿勢も含みます。

ジュピリーは、あなた方の神に対する「知識」について考えるよう招いています。あなたは神をどのように知っていますか？あなたを召してくださったお方との個人的な関係は、どれほど深いものですか？あなたの愛はどのように変化しましたか？今日、あなたの愛はどのように表現されていますか？

このようにしてご自分の人生を振り返ることを通して、この長い年月の間、あなたと共に歩いてくれたすべての人々のことを思い起こし、感謝し、あるいは許すことに役立つかもしれません。そうすることにより、あなたの善の行いには感謝され、足りなかったところは許してもらえることになるでしょう。

新たな愛と奉獻の志をもって、あなたは今日、神に次の祈りを捧げることでしよう。「神よ、私はこの先何が起こるかはわかりません。私はひたすらあなたの臨在と無条件の愛を信じ、あなたは私にとって最高の同伴者だという思いを心に、私の進むべき道をあなたと共に歩み続けることを約束します。私は喜んであなたの愛の証し人となります。」

私たちは、生命の神を祝福するために、海を越え、大陸を越えて、189名のジュピリアンに感謝を捧げ、私たちの創立者のお言葉「三位一体の神に奉仕することが私たちの人生の唯一の使命」だということを胸に邁進していきます。

「すべてにおいて、私たちの人生を充実させ、真に幸福にくださる神が私たちの目標であり、終点であり、私たちの最高の善でありますように」。 (マザーテレジアの書簡 714号、信頼と勇気 7月2日)

修道会を代表してお祝いを申し上げるとともに、皆さまお一人おひとりのために祈ることを約束します。また、この一年、お互いのために祈り合いましょう、

M. Dominica Michalke, SSND

シスター-M.ドミニカ・ミハルケ、SSND

総長

photo taken by M. Dominica Michalke, SSND, in Assisi

Song 3D siblings, Mary, did you know: https://youtu.be/01tZP5mODhg?si=GWZYQ37_XpyQz5k2

Song with video: https://youtu.be/CihO7vA_ps4?si=oKuWmwTx223kxNTM